

発行者 浜松言友会 浜松市勤労青少年福祉関係団体 認定
NPO法人全国言友会連絡協議会 加盟

会長 谷 哲夫

編集者 菅沼 覚

ホームページ <http://hamamatsugenyuukai.web.fc2.com/>

⇒「浜松言友会」で検索

浜松例会 報告

日時：平成29年6月18日(日)14時～16時45分

場所：アイミティ浜松(浜松市立勤労青年ホーム) 第1集会室

司会：YN(兼勉強会)

参加人数：11名(TT、AF、YN、NH、SY、NK、IH・M、SS、
初参加のHS、MY(入会、言語聴覚学科学生))

1. 自己紹介など(抜粋)

- ・ 幼少からおとなしい子どもであった。高校の国語の授業の朗読の際、最初の言葉が出ず、それ以来、苦手意識を持つようになり、連発→難発の吃音となった。出にくい言葉は避ける時もあるが、どうしても言わなければならない時もある。言友会に参加して、吃音は悪いことではないと知り、自分を責めることがなくなったことは本当によかったと思う。ストレスに弱い体質なので、なるべく思い悩まないようにしたい。
- ・ 難発性の吃音で悩んでいた。約50年間、新聞で吃音に関する記事や団体を探し続けてきた。やっと浜松言友会を知ることができ、昨年参加している。自分のようなことのないように、新聞などのメディアを通して、言友会の存在を積極的に発信してほしい。
- ・ 言友会に参加して長いですが、本格的に参加したのは退職後から。現在は地元の自治会活動(最近は納涼祭や選挙など)で忙しい。吃音症状は治っていないが、開き直っているので、悩みではない。
- ・ 昨年参加している。自分の症状は吃音症ではなく早口症であると診療先で診断を受けた。例会では、スマホの※聴覚遅延フィードバック(DAF)アプリを使って発言を行っている。

※聴覚遅延フィードバック(DAF)

自分の話した声を少し遅れて聞きながら喋ることにより、吃音の軽減を図るための方法

←参加者の感想

使用していない状態と比べて、発言が、かなり聞き取りやすくなっている。

←会長よりコメント

DAFは1970～80年代は吃音の治療方法として効果があるとされていたが、その後は一時否定されもしたが、最近は、また復活しつつあるようだ。



- ・ 2015年4月から、大学に勤務(教員)している。群馬言友会に所属していた。現在は浜松言友会会長。

• (初参加)

県外出身。現在は言語聴覚学科の大学で、吃音を卒業研究とするT先生(浜松言友会会長)のゼミに参加している。自分自身にも小学生の頃、吃音があり、言語聴覚士の訓練を受けた。親は発達生涯担当の教師で、吃音については知識があったせいか、吃音について、とやかく言われたことはなかった。

• (初参加)

県東部出身。同じく大学でT先生のゼミに参加している。先日、保育園での実習において、3歳位の2人の子どもが吃っていたが、保育士は、あまり認識していないようだったのが気になっている。

←会長よりコメント

保育士の試験では、言語発達の科目はあるが、それほど内容は深くはない。

吃音の発症は2~5歳が最初。この時点で適切な治療が肝要だ。発話自体へのアプローチではなく、環境調整による治療を！

具体的には

- 大人の発話をゆっくり
- 生活パターンをゆっくり
- 親と子のじっくりとした会話時間の確保

メインは家庭である。言語療法室ではない。保育士が「環境調整」を知っていることと、吃音について理解していることが必要だ。保育士が、このような知識がないまま、吃音の子に注意してしまうことを防ぎたい。



←参加者より

私の娘が保育園児の頃、吃音を発症した。心配してあれこれしたりすると、かえって悪化してしまうのではないかと恐れ、あえてなにごともないかのように振る舞い、専門ではない保育士へも相談しなかった。結果論かもしれないが、娘の吃音は半年程で治った。

- 25歳から浜松言友会へ参加している。小学校の頃から吃音を意識しだした。中学校の頃、集中豪雨(七夕豪雨(昭和49年))があり、一時的に学区外の中学校で授業を受けた際、吃ったことを覚えている。

22歳の頃、吃音を治そうと決意し、それから4年間は東京の矯正所へ通ったり、発声練習をしたり、「青年の船」等の青年活動へ積極的に関わるようになった。

言友会の「吃音者宣言」(文面は会報333号参照)にショックを受けたことを思っているが、今思うと、宣言に込められた生き方が大切なのかなと思っている。現在は、電話に不自由がない程度に改善されており、吃音に対する悩みはない。

10人いれば10人なりの吃音の悩みがあると思うが、「吃音さえ治れば、全てが変わる！」とと思っている人にこそ、言友会を知ってもらいたい。

2. 勉強会

5月28日(日)の静岡例会への参加者から、勉強会の報告を受け、意見交換の時を持ちました。

→ 静岡例会での勉強会で出た意見等は「会報第334号」をご覧ください。

主にカミングアウトについての意見が出ました。

- カミングアウトして良かった場合と、良くなかった場合があるのではないか？
- 大学で吃音を専門としている立場もあると思うが、自身が吃音であるとカミングアウトすることにより、相手がホッとしたり、相談者とのコミュニケーションが深まる効果がある。
- 職業によっては、職場の吃音への理解がないと、カミングアウトすることが、かえって自身の首を絞めてしまうことにもなりかねない。特に看護師など人の命を扱う仕事は、言葉による伝達がスムーズにいかないと致命的な問題となってしまう。
- 自身は色覚異常者である。現在の職場の配置先は、色塗りの凶面を扱ったり、現場で境界杭(赤色・黄色)を設置・確認したりする仕事が多くある。思い切って事務引継ぎの時に、「自分は色覚異常があり、色を見分けたりすることに困難を覚えることもあります。ご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、よろしく願います。」とカミングアウトしたところ、皆、快く理解してくれ、心が軽くなったことを覚えている。吃音とは直接関係はないが、カミングアウトの効果について考えさせられた。

3. 「第5回青少年のための吃音講座」について

- 日程・内容等について
 - 詳細は別紙チラシをご覧ください。なお、ホームページからも確認できます
- 「吃音当事者への体験発表」の発表者の人選について
 - 事務局において調整中
- 啓発ポスターは掲示するが、体験授業「聴覚遅延フィードバック（DAF）」は、昨年の参加者が少なかったこともあり、実施しない。
- 後援依頼先や関係機関へ案内チラシを送付することに加えて、可能な範囲で直接に訪問して講座の趣旨を説明する予定。

次回 浜松例会 案内

日 時：平成29年7月16日（日） 14時～16時45分
場 所：アイミティ浜松（浜松市立勤労青少年ホーム） 第1集会室
司 会：SY（兼テーマ内容担当）
内 容：吃音相談、近況報告など
「第5回青少年のための吃音講座」について
その他

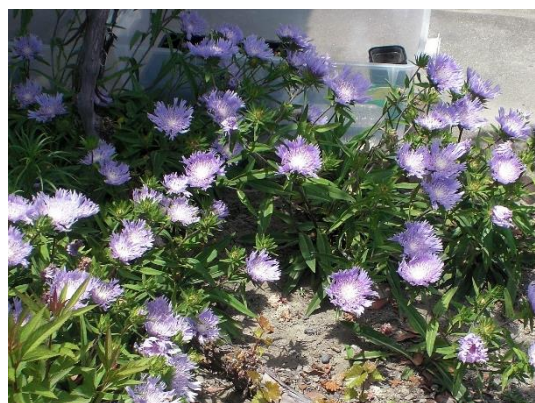
第4回静岡例会 案内

日 時：平成29年7月23日（日） 14時～16時45分
場 所：静岡市葵生涯学習センター（アイセル21）4階
第44集会室
内 容：吃音相談、勉強会、その他

浜松臨時例会 案内

日 時：平成29年7月30日（日） 14時～16時45分
場 所：アイミティ浜松（浜松市立勤労青少年ホーム） 茶室
内 容：「第5回青少年のための吃音講座」の準備・最終確認

※ 各例会の内容は参加状況等により、変更となる場合があります。



第5回青少年のための吃音講座 浜松会場 案内

日 時：平成29年8月6日（日） 11時準備 13時受付 13時30分～16時50分
場 所：アイミティ浜松（浜松市立勤労青少年ホーム） 第2集会室
早くから協力していただける方は、昼食の用意はありませんが11時集合をお願いします。
遅くなくても、講座へはできる限り多くの方の参加をお願いします。

その他お知らせ

- JDD ネット（一般社団法人日本発達障害ネットワーク）への加盟について

全言連が「JDD ネットに加盟するか」について、9月の理事会で議案とするかを決め、11月3日の総会に諮りたいと考えている。この大きな議題を各言友会内でも検討してほしいとのことであり、皆さんのご意見を事務局までお願いしたい。以下に、全言連趣意書を事務局なりにまとめてみたので参考にしてほしい。

賛成の意見の例（メリット）

吃音が発達障害者支援法の対象であり、吃音の認知度向上や吃音のある人への社会的支援の枠組み構築など、個人（内向き）から社会（外向き）へ関心の向きを広げる機会となる。

吃音問題は、「個人の問題」ではなく「社会が取り組むべき課題」との強い思いである。

行政などへの吃音の認知度向上、他の発達障害者と協力しながらの啓発活動などは影響力が大きい。

JDD ネットと直接関連しないが、吃音者は精神障害者保健福祉手帳の対象となり、身体障害者手帳よりも取得が容易となる。精神障害者保健福祉手帳は2018年より障害者雇用の対象になる。

反対の意見の例（デメリット）に対して

吃音は障害ではない、個性だ、個体差だ。⇒ 障害を社会モデルでも考えてみよう。

吃音は発達障害（精神障害）ではなく身体障害だ、身体障害者の団体のほうが良い。

⇒ 吃音は吃音、そして、発達障害者支援法の対象でもある。

就職への道や合理的配慮の中身は発達障害とは異なる。一緒にしないで！。

⇒ 吃音はあくまでも吃音として考えよう。

吃音者（精神障害者）への差別や偏見が心配である。⇒ 吃音の正しい理解や社会的認知が大事。

障害者手帳はいらぬ。メリットはない。⇒ メリットがある人には勧めたい。

JDD ネット（入会金 30,000 円、年会費 100,000 円）に加盟して何をしたい。「手帳」がほしいのか。

吃音の社会的位置づけが一時混乱しないか。全言連の意にそぐわないことにも協同することになる。

⇒ 社会参加が目的、発達障害者支援法による支援を充実させたい。

障害の発達障害者支援法などによる分類の例

障害 一・身体障害

・知的障害

・精神障害

一・発達障害

・その他

一 自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるものをいう。

事務次官通知 ICD-10 . . . 。 吃音症 . . . 。

・ 年会費 6月納入者 MK

・ 申請していた「静岡県社会福祉協議会ふれあい基金」が不採択となり、助成金がありません。皆様の寄附などのご協力をお願い致します。

・ 日本吃音・流暢性障害学会 第5回大会

期日：平成29年8月19日（土）～20日（日）

会場：岐阜市 長良川国際会議場

・ 第31回言友会中部大会 2017 IN 飛騨高山

期日：平成29年10月28日（土）～29日（日）

会場：岐阜県高山市 「お宿・信田」

・ 第51回言友会全国大会（ワークショップ）

期日：平成29年11月3日（金・祝）～5日（日）

会場：福岡市 志賀島国民休暇村

・ 吃音世界大会 in JAPAN 2018（仮称）

期日：2018（平成30）年7月13日（金）～16日（月・祝）

会場：広島国際会議場

主催：国際流暢性学会、国際クラタリング学会、国際吃音者連盟、日本吃音・流暢性障害学会、全国言友会連絡協議会



ONE WORLD, MANY VOICES:
SCIENCE AND COMMUNITY
13th - 16th July 2018, Hiroshima

一つの世界、多くの声：

科学とコミュニティ（仮和訳）

～編集者より～

最近では、何名かが例会（浜松）前に早めに会場に着いて、ロビーで雑談などを行っています。気軽な雰囲気です。互いに何気ない事や情報交換を行うことは、多少なりとも会の潤滑油になっているように感じています。

「第5回青少年のための吃音講座（浜松・静岡）」も近づいてきました。毎年開催するごとに、様々な出会いや、会の今後につながるキッカケを得てきました。今年も、そのような出会いを期待しつつ、吃音の啓発のために準備を行っていきたいと思います。皆さんの当日のご参加をお待ちしています。

事務局 朝稲 福司

〒438-0818 静岡県磐田市下万能 357

Tel & Fax

0538-32-5682 携 080-1606-5162

Eメール

asaine@msb.biglobe.ne.jp